
彼と私(仮) 番外 3時の勉強文明どう？

黒ヒジキ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

彼と私（仮） 番外 3時の勉強文明どう？

【Nコード】

N5404B

【作者名】

黒ヒジキ

【あらすじ】

普通だった私と、普通じゃない彼のある日の一日。彼と私（仮）の番外編です。

「ねえねえ、ちよつと頼みがあるんだけど」

部活の先輩がそんな事を言い出した。彼女は茶髪でナチュラルウェーブの髪がよく似合う標準型女子高生装備（ブレザータイプ）の少女だ。

「いいけどどんな頼み？ 宿題ならやってないよ」

「やりなさいよ……。って、そうじゃなくて」

そうでなくてもツツコむところが違うというに。

「なーにー？」

「オチのない話を書いてほしいんだけど」

ふむふむ、なるほど。オチがない話は結構書きなれてるし、やってもいいか。

そういえば受験シーズン追い込みだなあ。藁にもすがる思いでこんなことを。必死だな。

「オチない話で落ちないお守り？」

「オチ付けないですよ！」

そういうわけで今回オチはありません。

今回は図書館に来て見ました。試験勉強みんながんばれー、と発破かけるためです。

この図書館は虫眼鏡みたいな形でもしろいです。

中心には腰掛けた少女の像が置かれた中庭があり、その周りをはめ殺しの窓で覆って、沿うように二人がけに持つ置きつきのいすを配置。本棚はその内側に放射状に並んでいます。そこは1階だけ。

虫眼鏡の柄の部分は地下書庫付3階建てで、1階部分にカウンターと職員室。

2階には受験生でいっぱいな閲覧室があり、殺気立っていて無関係な自分には入りにくいんです。ちなみに3階はイベントホール。

そんなわけで2階には受験と無関係な自分には居づらいので、1階でこうしてご依頼の原稿書いてるわけなんです。

「大変だね」

何でいるかな、その彼。

「勉強教えて、っていったの君だし」

そんなこと言いましたっけ？ しかも声を大きいし。

「ああ、そうだった」

と、唐突に外の音が途絶える。

「ふう、これで良……」

スパコーンと彼の頭をはたく。

何してますかな。能力の無駄遣いもいいところですよ？

「この方が気を遣わなくて良いでしょ」

だからって怪しまれるでしょうが。読唇術者ですか、私は。

「それはさておき」

さておきな。閑話休題。

世界史得意だったよね。

「得意と言うより実体験だし」

おお、さすが『世界の力ケラ』様。侮れないボケですな。

「あ、ばれた？」

ばれるわい。それはともかく四大文明について教えてー。

「文明ネタなの？」

そうなんです。先輩のためにヤマはつてみたんですよ。

「それじゃ、まず a s d f g h j k 銀河の第2星系から……」

待てい。誰がそんな聴いたことない銀河の話してるか！

「じゃあ、
* 星雲のSYROIU星のモノリ……」

さらに待てや。

「……違った？—（表記不可）星系の—（認識不可）星から派生したやつ？」

おいこら。

「それとも遠い昔遙か彼方のあれ？」

わざと言ってるんですか、その彼。ぜんぶちがいますよ。何でそうなる。

でも、最後のはちよつと気になるので後で教えてね。

「世界四大文明の話でしょ？」

だからって銀河レベルの話は訊いてない！

この思考を読み取った彼はしばらく思索すると。

「じゃあ、N県H市在住の奴戸カメさん（79）が最近売り出し中の新種の野菜、四種の文明フミアケの話かな？」

四大文明？ 確かに近いなあ、って、違うだろ。

「それじゃあ、田五作どんの……」

イヤそれも違うって。

「なら……」

いやだから……

……

……

……

……

以下閉館まで続く。

落ちない話＝一応区切り

(後書き)

こんなのにお付き合いいただき、ありがとうございました。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n5404b/>

彼と私(仮) 番外 3時の勉強文明どう？

2010年12月30日23時10分発行